

平成 29 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち						
施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給						
主管課名	水道課								
関係課名									
施策が目指す すがた	・安全でおいしい水が、将来にわたって安定的に供給されています。								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民 ・ 事業所	・水道水を大切に使います。							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査、水道施設の維持管理を行い、安全な水道水を供給します。 ・水道の利用促進を図るため、水道に関する情報提供を行います。 ・老朽施設、管路の更新を継続的に行うため、経営の効率化、健全化に努めます。 							
	その他 (地域)								
施策を実行する うえで基本と なる事業	基本事業①	水道施設の整備							
	基本事業②	安定した水道事業経営							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	1,154,604	1,012,755	822,675	849,577	1,192,455	777,100
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	233,759	334,072	336,530	399,143	745,079	339,221
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	920,845	678,683	486,145	450,434	447,376	437,879
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	28	26	37	39	39	39	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	17,860	17,300	18,000	17,960	17,960	17,960	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	78,566	72,556	78,876	75,091	73,834	72,325	
F. トータルコスト（B+E）		千円	1,233,170	1,085,311	901,551	924,668	1,266,289	849,425	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）		円	26,054	22,998	18,888	19,688	27,922	18,354
	同 上		円	1,773	1,648	1,811	1,740	1,729	1,708
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	27,827	24,646	20,699	21,428	29,651	20,062
	同 上		円	27,827	24,646	20,699	21,428	29,651	20,062
	I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	27,827	24,646	20,699	21,428	29,651	20,062
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340

基本事業概要シート①

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
基本事業名	①水道施設の整備		
基本事業の目的(意図)	老朽化した施設や管路を計画的に更新し、水道水が安定供給されています。		
平成29年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【簡易水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東蔵簡易水道の老朽管(配水管)962.3mを更新しました。 ・日尾簡易水道の配水管18.2mを更新しました。 <p>【増補改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用し、基幹管路740m(導水管371m、送水管369m)を耐震管に更新しました。 ・道路改良工事等に合わせて、老朽管160.3mの更新を行いました。 ・道坂第4水源地の電気設備(取水ポンプ盤、軽装盤)を更新しました。 <p>【拡張事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六郎丸低区配水池が完成(事業期間:H25~H29年度)し、平成29年11月29日に供用を開始しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
管路の更新率	%	0.60	0.70	0.60	0.80 1.10	0.85 0.77	0.90	0.95	1.00
水道管耐震化率	%	10.4	14.3	14.8	18.0 15.9	19.0 16.7	20.0	21.0	22.0
基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率 (追加指標)	%	—	2.1	2.5	— 3.9	— 8.5	12.5	16.2	20.1

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成29年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道事業	90,000,000	50,227,560	39,772,440	B	水道課
2	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業	280,000,000	225,697,200	54,302,800	B	水道課
3	水道企業会計(資本的支出)	○ 拡張事業	140,000,000	63,296,504	76,703,496	B	水道課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			510,000,000	339,221,264	170,778,736		

基本事業概要シート②

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
基本事業名	②安定した水道事業経営		
基本事業の目的(意図)	計画的な料金の見直しを行うなど経営の合理化に努めています。		
平成29年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【水道管理運営事業・簡易水道管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道及び簡易水道施設の維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替を行いました。 ・使用料の請求及び徴収業務を行いました。 ・簡易水道事業の公営企業会計への移行を進めるため、「固定資産調査及び評価等業務」を委託し資産状況の把握を行いました。 <p>【水道管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の適正管理と業務の効率化を図ることを目的に、「水道施設管理マッピングシステム構築業務」を委託契約しました。(履行期限:H31.3.31まで) ・「うおづのうまい水」が“モンドセレクション2017 最高金賞”を受賞しました。なお、年間販売数は前年度比7,141本増の26,176本となりました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
料金回収率	%	107.5	100.2	108.9	106.0 106.5	107.0 108.1	108.0	109.0	110.0
給水人口一人当たりの企業債残高	円	103,276	101,352	105,424	110,000 118,782	108,000 117,816	107,000	106,000	105,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成29年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道管理事業	13,416,000	8,200,114	5,215,886	B	水道課
2	水道事業会計(収益的支出)	○ 水道管理運営事業(ボルドウォーター事業分除く。)	503,223,000	429,678,866	73,544,134	B	水道課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			516,639,000	437,878,980	78,760,020		

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
平成29年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水道管路の更新率は、昨年度は1%を超えましたが、平成29年度は0.77%にとどまりました。 ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して基幹管路740m(導水管371m、送水管369m)を耐震管に更新したことにより、基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率は、前年度比4.6ポイント増の8.5%と大きく向上しました。しかし、未だ県内10市の中では下位にあります。 ◆低区配水区の配水池容量不足解消のため平成25年度から建設を進めてきた「六郎丸低区配水池」が完成し、平成29年11月29日に供用を開始しました。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆料金回収率は、108.1%(H28年度:106.47%)で100%を超えており、営業活動に必要な経費は、利用料金で賄われています。 ◆建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制することを目指していましたが、平成29年度の充当率は74%であり目標を達成できませんでした。 ◆料金収入に対する企業債元利償還金の比率は57.1%(H28年度:56.7%)と高い状況にあります。企業債元利償還金が多額であり経営を圧迫していることが指標からみとれます。 ◆水道料金は、平成10年4月以降据え置いています。家庭用料金(20㎡/月あたり)では、県内12事業者の中では4番目の低さです。 <p>※参考:3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金 魚津市2,640円、黒部市1,641円、滑川市1,852円、県内12事業者平均2,957円(H29年度末現在)</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成29年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①水道施設の整備】</p> <p><簡易水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆東蔵簡易水道及び日尾簡易水道の老朽管980mを更新しました。 <p><増補改良事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して、導水管371m、送水管369m 計740mを耐震管に更新しました。 ◆道坂第4水源地の電気設備(取水ポンプ盤、軽装盤)を更新しました。 <p><拡張事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成25年度に着手した「六郎丸低区配水池」が完成し、平成29年11月29日に供用を開始しました。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <p><水道管理運営事業・簡易水道管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆簡易水道事業の公営企業会計への移行を進めるため、「固定資産調査及び評価等業務」を委託し資産状況の把握を行いました。 ◆簡易水道料金を上水道との統一を図るため、関係地区への説明会を開催し理解を得るよう努めました。 ◆「うおづのうまい水」が“モンドセレクション2017 最高金賞”を受賞しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き「生活基盤施設耐震化等交付金事業」を活用して、耐用年数を超える基幹管路(導水管、送水管、配水本管)3,440mの整備・耐震化を進めます。(事業年度:平成29年度から32年度(4か年)) ◆引き続き東蔵簡易水道施設の更新を進めます。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営状態は、黒字ではあるものの、企業債に依存した状況であることから、95%としてきた建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制し、企業債残高の適正化を図ります。 ◆平成29年度から2か年継続事業として進める「水道施設管理マッピングシステム構築」を完成させ、管網解析やアセットマネジメント(資産管理)を行い、長期的視点による水道施設の適正管理と業務の効率化を図ります。 ◆平成31年10月の消費税率改定及び経営安定を見据えた上水道料金の見直しについて検討します。 ◆簡易水道料金に関しては、上水道料金体系への移行に向けた地元説明を行い、理解を得ていきます。 ◆簡易水道事業については、平成32年4月までに公営企業会計に移行するよう要請(平成27年1月27日総務大臣通知)されています。地方公営企業法の適用に移行するために必要な業務を進めます。 			

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆老朽化した施設や管路は、計画的に更新すること。特に基幹管路については、耐震管への布設替えを速やかに進めること。 ◆平成31年10月の消費税率引き上げに合わせて適切な料金について検討、見直しを行い、水道事業の経営の安定と合理化に努めること。
---	---

<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆水道料金の見直しや事務の効率化を図り、安全でおいしい水を安定的に供給します。 ◆新たな収入確保策について調査・検討します。 ◆老朽化した施設や管路の更新や耐震化を計画的に進めます。
---------------------------------	---